

第47回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会

H15年(2003年)4月19日～21日 下関市体育館 他

男子準決勝

宇部工	76	18 - 15 21 - 13 22 - 25 15 - 19	72	山口
-----	----	--	----	----

宇部工業 #4高東 #5明末 #6入江 #7川本 #10京免
山口 #4隅廣 #5大堀 #6本間 #7清水 #15細坂

両チームともマンツーマンDef。宇部工は#7の3Pで幸先のよいスタートを切る。#6がリバウンドで頑張りをみせ着実に得点を重ねていく。一方山口は#7が徹底マークされ攻め手を失うが、#5の1on1、#4の3Pで宇部工を迫りかける展開。第2クォーターに入っても宇部工は中外バランスよくオフェンスを展開し、ゲームの主導権を握る。前半39-28。第3クォーター宇部工は前半同様Off、Defともに自分たちのペースで落ち着いたゲーム運び。山口高は#4がファール4つで交代。しかし、#16 #18がよくつなぎじわじわと追い上げる。第4クォーター開始早々山口高#4が5ファール退場。山口高は#5のミドルシュートが連続して決まり2点差まで追い上げるが時すでに遅し、76-72でゲーム終了。(主審：松本 隆 副審：内田昭紀)

男子準決勝

岩国工	56	10 - 25 7 - 27 17 - 20 22 - 8	80	豊浦
-----	----	--	----	----

岩国工 #5山田 #7高野 #10佐原 #11大城戸 #14田村
豊浦 #4古川 #5魚谷 #12藤村 #13高山 #14野口

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりから豊浦が、アーリーオフェンスで着実に得点をあげペースをつかむ。岩国工も早い攻めを試みようとするがミスが続き、17-52と豊浦35点リードで前半を終える。後半に入っても、豊浦はリバウンドを支配し、速攻からの#4のジャンプシュート、#5のドライブ等で得点を追加していく。一方岩国工も#16のジャンプシュート等で反撃するが、流れを変えるまでにはならず、結局56-80で豊浦が勝利した。(主審：叶太 副審：奥野 忠)

男子3位決定戦

山口	75	21 - 19 24 - 12 11 - 11 19 - 18	60	岩国工
----	----	--	----	-----

山口 #4隅廣 #5大堀 #6本間 #7清水 #15細坂
岩国工 #5山田 #7高野 #10佐原 #11大城戸 #14田村

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、山口は動きが硬く、簡単なミスを重ねる。岩国工は#10のインサイド等で得点を重ねていく。そこで山口は2-2-1ゾーンプレス、2-1-2ゾーンにディフェンスを切り替える。岩国工はインサイドにボールがつかず、流れが変わる。山口は流れを取り戻し、#4のスリーポイント、#5のドライブからのあわせ等で着実に得点を重ね、45-31、山口14点リードで前半を終える。後半、岩国工は2-2-1ゾーンプレス、3-2ゾーンディフェンスからの速攻で反撃するが、点差を縮めるまでには至らず、結局75-60で山口が勝利した。(主審：渡辺博史 副審：勝原芳徳)

男子決勝

宇部工業	85	25 - 26 27 - 23 22 - 21 11 - 27	97	豊浦
------	----	--	----	----

宇部工 #4高東 #5明末 #6入江 #7川本 #10京免
豊浦 #4古川 #5魚谷 #12藤村 #13高山 #14野口

宇部工、豊浦ともにマンツーマンDefでスタート。両チームリバウンドをとってから速い展開でのゲーム運び。序盤、豊浦#4のカットイン #14の3Pで得点を重ねる。対する宇部工は、#10のミスマッチをついたポストプレー、#7の3Pで応戦。入れられたら入れ返す、一進一退の攻防が続き52-49で前半終了。後半も前半同様、両チームファーストブレイクを常に狙う速いゲーム展開。宇部工は#14のポストでのステップインシュート、#5のミドルシュートで得点を重ねるが、豊浦の集中を切らさないDefにシュート率が下がってくる。一方、豊浦はDefリバウンドを確実に取り速攻につなげ得点する。残り3分豊浦#13のスティールからレイアップシュートで2点差に追い上げる。終盤になり宇部工は前半まで決まっていたシュートが決まらず、逆に豊浦に速攻を許し逆転される。その後も豊浦の速攻が連続して決まり97-85で試合終了。(主審：川武 修 副審：春山良二)

第47回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会

H15年(2003年)4月19日～21日 下関市体育館 他

女子準決勝					
	徳山商業	70	21 - 9 17 - 14 24 - 17 8 - 18	58	長 府

徳山商 #4池森 #5土井 #8角田 #9小森 #10山本
長 府 #5保田 #6岡崎 #7上村 #8山下 #14前田

両チームともハーフコートマンツーマンDef。長府は徳山商#4をフェイスガードで守る。徳山商はDefリバウンドからの速攻やオフェンスリバウンドなどで着実に得点を重ねていく。それに対して長府は外からのシュートが入らず、リズムにのれない。前半を38 - 23で終了。後半に入って徳山商は#8のポストプレーを中心に得点していく。長府も外からのシュートが入り始めるが点差は縮まらない。4Qに長府が追い上げをみせるが、70 - 58で試合終了。(主審：高木直樹 副審：信次由紀恵)

女子準決勝					
	光	36	5 - 23 5 - 27 9 - 15 17 - 29	94	誠 英

光 #4河村 #5森山 #6高岸 #9増岡 #15高下
誠 英 #4植田 #5濱本 #6兼国 #7内田 #9高崎

光マンツーマンDef、得点後は2 - 1 - 2ゾーンプレスから2 - 1 - 2ゾーンDef、誠英オールコートマンツーマンDefでスタート。前半、誠英の激しいプレッシャーDefのまえに光は得点することができない。一方誠英は#4を中心にゾーンを上手に攻め、着実に得点を重ねていき、10 - 50誠英リードで前半終了。後半に入っても光はミスが重なり、リズムに乗れない。終始、誠英リードのまま試合終了。圧倒的な誠英の勝利であった。(主審：弘中 勤 副審：中本朋仁)

女子3位決定戦					
	長 府	68	16 - 14 16 - 16 17 - 17 19 - 19	66	光

長 府 #5保田 #6岡崎 #7上村 #8山下 #14前田
光 #4河村 #5森山 #6高岸 #9増岡 #15高下

両チームともマンツーマンDefでスタート。途中、光は2 - 1 - 2ゾーンプレスから2 - 1 - 2ゾーンDefにチェンジする。長府はミスマッチを利用し、得点を重ねる。それに対して光はパス・ランで応戦する。前半は32 - 30の長府リードで終了。後半、両チームマンツーマンDef。長府は前半同様、#8と#14のインサイドを中心に攻めてくる。光も小さいながら相手のミスから速攻で離されずついていく。最後まで一進一退の攻防が続く。4Q残り1分#14の得点で65 - 64で長府のリード。残り13秒長府#14がファウル、光がフリースローを得る。しかし、そのフリースローを2本ともはずすがリバウンド争いで光がボールを奪い、#5がバスケットカウント。光が逆転。残り時間が7.8秒。光が勝ったかに思われたが、フリースローをはずし、リバウンドボールを支配した長府がフロントコートにボールを運び、#7が3Pを放った直後にブザー。ショットは決まり、劇的な逆転で長府が68 - 66で中国大会の切符を得た。(主審：秋田秀雄 副審：河村正夫)

女子決勝					
	徳山商業	48	13 - 32 7 - 19 19 - 14 9 - 27	92	○ 誠 英

徳山商 #4池森 #5土井 #8角田 #9小森 #10山本
誠 英 #4植田 #5濱本 #6兼国 #7内田 #9高崎

前半、徳商のGは誠英の激しいDefに対し、ボールを運ぶことができず、ターンオーバーを連発。Defでもファウルが増え、波に乗ることができない。一方誠英はスティールからのレイアップ、ファウルでもらったフリースローを着実に決め、じわじわと得点差をつけていく。20 - 51前半誠英高校リードで終了。後半、徳商も#4を中心にDefで頑張りを見せるものの、前半同様ボール運びに苦しみ、得点差をつめるができない。誠英は#9が攻守にわたり大活躍。終始安定した試合運びで48 - 92で試合終了。誠英高校が新人大会での雪辱を晴らした試合であった。(主審：松本 理 副審：有澤重行)